

みずほCustomer Desk Report 2018/08/08 号(As of 2018/08/07)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.32 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.34	1.1557	128.67	1.2941	0.7386
SYD-NY High	111.48	1.1608	129.23	1.2973	0.7440
SYD-NY Low	110.99	1.1552	128.62	1.2924	0.7383
NY 5:00 PM	111.37	1.1599	129.20	1.2940	0.7421
NY DOW	25,628.91	126.73	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	7,883.66	23.99	日本10年債	0.1000	0.00bp
S&P	2,858.45	8.05	米国2年債	2.6718	2.45bp
日経平均	22,662.74	155.42	米国5年債	2.8440	3.57bp
TOPIX	1,746.05	13.15	米国10年債	2.9758	3.16bp
シカゴ日経先物	22,685.00	140.00	独10年債	0.4065	1.85bp
ロンドンFT	7,718.48	54.70	英10年債	1.3240	2.15bp
DAX	12,648.19	49.98	豪10年債	2.6710	▲1.55bp
ハンセン指数	28,248.88	429.32	USDJPY 1M Vol	6.20	▲0.15%
上海総合	2,779.37	74.22	USDJPY 3M Vol	7.20	0.04%
NY金	1,218.30	0.60	USDJPY 6M Vol	7.55	▲0.02%
WTI	69.17	0.16	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	194.49	0.56	EURJPY 3M Vol	7.91	▲0.21%
ドルインデックス	95.22	▲0.14	EURJPY 6M Vol	8.32	▲0.21%

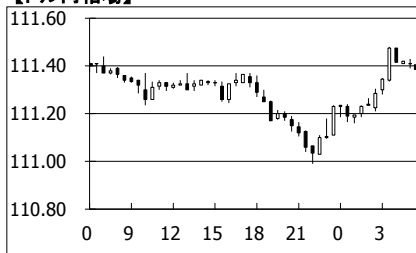
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月7日	13:30	豪 RBAキャシュレート	-	1.5%
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	6月 -0.9%	-0.5%

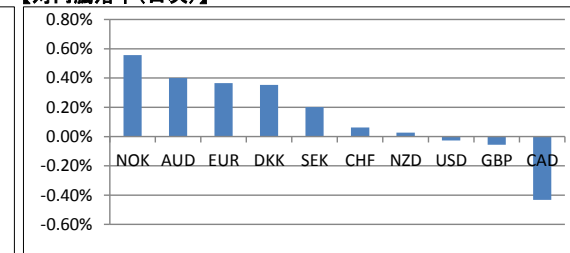
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月8日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	12:05	豪 ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
	21:45	米 ラッカー・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	-	中 貿易収支	7月 \$38.92b	\$41.47b
	-	中 輸入(前年比)	7月 16.5%	14.1%
	-	中 輸出(前年比)	7月 10.0%	11.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-112.00	1.1500-1.1650	128.50-130.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、7月30日以来となる110円台をつける場面もあるも、株式が上昇、債券利回りも上昇する流れがドル買いのサポート材料となり、ドル円は111円台前半まで値を戻してクローズ。各市場のボラティリティは低下しており、本日も市場参加者少なく方向感の出にくい状況は継続か。日本時間朝公表の7月開催分の日銀主要意見の結果を確認しつつ、円金利が上を試すような展開になるとドル円は下げる場面もあるか。但し、一段と下を試す雰囲気ではなく、円買い一巡後はじりじりと値を戻しやすいだろう。

アジア	朝方のドル円は、一時111.44をつけるも前日からの流れを引き継ぎ上値の重い展開。東京時間は111.34レベルでオープン。本邦勢による実需フローが散見される中、小幅ながら荒い値動きを見せながら一時111.24まで下落。実需フローが一巡すると材料難の中で横ばい推移。午後にかけて日経平均株価が一段と上昇し、中国上海株も前日下げ幅を回復する動きを見せるも、ドル円は上値の重い推移が続き、結局111.26レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.26レベルでオープン。中国株が買い戻され世界的に前日まで続いたドル買い相場の巻き戻しが見られる中、ドル円はじりじりと値を下げる展開。トランプ米大統領がイラン制裁に関するツイートを出したことも円買いを誘い、一時111.11円まで下落。111.13レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1572レベルでオープン。中国株に続いて欧州株も上昇する展開となったことでユーロ買い優勢地合いとなる。1.1604まで堅調に上値を伸ばし、大台をキープしたまま1.1603レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2962レベルでオープン。世界的にドル買いの巻き戻しを背景にポンドも小幅に上昇する展開。朝方に発表された7月の英不動産価格が予想外に上昇したものの市場の反応は薄く、1.2953〜73の狭いレンジ内での取引に終始し、結局1.2964レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では、中国上海株をはじめ海外株が総じて堅調に推移し、リスクセンチメントが回復する動きにドル売りが強まり、111.30近辺から小幅に値を下げて111.13レベルでNYオープン。特段目新しい材料がない中、海外市場のドル売りの流れを引き継ぎ、先週金曜日の雇用統計後につけた安値111.11を下抜けてストップを巻き込みながら7月31日以来となる110.99まで一時下落する場面が見られるも、その後すぐに反発し111円台を回復。良好な企業決算や堅調な海外株を背景に高値寄りした米株が底堅く推移する動きや、上昇基調の米金利などを背景にドル円は上昇。NY午後に入り、ユーロ円が雇用統計後にレジスタンスとなっていた129円を突破してストップを巻き込みながら129.23まで急伸すると、ドル円も連れ高となり、海外時間の高値を上抜けて111.48まで上昇。結局111.37レベルでクローズ。なお、この日米政府は、対中制裁の第2弾となる「中国製品160億ドル相当への25%の追加関税を今月23日から適用」することを発表した。米通商代表部(USTR)によると、当初公表した関税リスト284品目のうち、279品目が対象となる模様。一方ユーロドルは、リスクセンチメント回復や独金利上昇を背景に海外時間に1.16台を回復し、1.1603レベルでNYオープン。直後に1.1608をつけたが、この水準では売り意欲も強く、上昇基調が一服。米金利上昇を受けてドル買いが強まったことから1.1583まで下落するも、夏枯れモードの中で値動きは限定的となり、結局1.1599レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 岡本・鶴田